

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No.1

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは「1」と記入すること	成績処理システムでは「2」と記入すること
1	(1)		①	技能		1 1
	(2)		②	技能		5
	(3)		③	技能		$\frac{1}{10}$
2	(1)		④	知識		ア
	(2)		⑤	知識		ア 1 2    イ 4    ウ 4    (完答)
	(3)		⑥	知識		8 6    イ 2. 4    オ <input type="checkbox"/> ウ    (完答)
<b>【授業改善の視点】</b> 計算の結果を見積もり、計算の仕方を考え、結果を振り返って確かめる活動を取り入れる。						
3	(1)		⑦	知識		イ
	(2)		⑧	知識		たろう    ウ りか    ア    (完答)
4	(1)		⑨	技能		$180^\circ \times \boxed{4} - \boxed{360}^\circ = 360^\circ$ (完答)
	(2)		⑩	考え	(正答の条件) ①「りかさんの考え」と「たろうさんの考え」のどちらかを○で囲んでいる。 ②「りかさんの考え」を選び、任意の頂点から2本の対角線を引き、3つの三角形をつくっている。(もしくは、任意の頂点から1本の対角線を引き、1つの三角形と1つの四角形をつくっている。) または、「たろうさんの考え」を選び、五角形の中に任意の点を取り、その点と五角形の頂点を全て直線で結び、5つの三角形をつくっている。 ③「りかさんの考え」… (式) $180^\circ \times 3 = 540^\circ$ ( $180^\circ + 360^\circ = 540^\circ$ ) 「たろうさんの考え」… (式) $180^\circ \times 5 - 360^\circ = 540^\circ$ (答え) $540^\circ$	
					①, ②を正しくかいている。	①, ②, ③を全て正しくかいている。
5	(1)		⑪	技能	(正答の条件) ①式を書き、体積を求めている。 (式) $30 \times (60 - 10) \times (40 - 20) = 30000$ または (式) $60 - 10 = 50$ $40 - 20 = 20$ $30 \times 50 \times 20 = 30000$ または (式) $30 \times 50 \times 20 = 30000$ まで、書いている。 ※体積を求めるかけ算の数字の順序は問わない。 ②(答え) 30Lを求めている。	
					①を正しく書いている。	①, ②を全て正しく書いている。
	(2)		⑫	考え		考え方1    ア    考え方2    オ (完答)
	(3)		⑬	考え	(正答の条件) ①機械(右下)の部分の体積を求めている。 (式) $30 \times 10 \times 20 = 6000$ ※数字の順序は問わない ②大きな直方体の体積から、機械の部分の体積を引くことを書いている。 (式) $72000 - 6000 = 66000$ ③(答え) 66Lを求めている。  (正答例) 次に、機械の部分の体積を求めます。 (式) $30 \times 10 \times 20 = 6000$ 大きな直方体の体積から、機械の部分の体積を引きます。 (式) $72000 - 6000 = 66000$ 1000cm <sup>3</sup> は1Lだから $66000 \div 1000 = 66$ (答え) 66L	
					①, ②を正しく書いている。	①, ②, ③を全て正しく書いている。

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No. 2

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況												
					成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること												
6	(1)		⑭	知識		㉒ ア ㉓ イ (完答)												
	(2)		⑮	考え		ウ												
<p><b>【授業改善の視点】</b>                      単位量のとらえ方は2通りあることを理解させるとともに、計算結果の大小と混み具合の関係を明らかにしながら思考・表現させる活動を取り入れる。</p>																		
7	(1)		⑯	関心		ア 13 イ 65 (完答)												
	(2)		⑰	考え		2 人												
8	(1)		⑱	関心		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>正三角形の数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>マッチぼうの本数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> </table> (完答)	正三角形の数	1	2	3	4	5	マッチぼうの本数	3	5	7	9	11
	正三角形の数	1	2	3	4	5												
	マッチぼうの本数	3	5	7	9	11												
(2)		⑲	考え		1 + 2 × 10 ※2 × 10 + 1 も可													
(3)		⑳	考え		(正答の条件) ①マッチぼうの本数を求めるために正答例などのように立式している。 ②正方形が10個のマッチぼうの本数を求めている。 (正答例1) 式 1 + 3 × 10 = 31                      答え 31 本 (正答例2) 式 4 + 3 × 9 = 31                      答え 31 本													
					①を正しく書いている。	①, ②を全て正しく書いている。												
<p><b>【授業改善の視点】</b>                      数量の関係を図や表を用いて規則性を見だし、式に表し発展的に問題を解決することができるような題材を取り上げ、合理的に解決する算数のよさを体感させるような活動を取り入れる。</p>																		